

## 第九章 図書館×まちづくり

文部科学省の調査によると、図書館の利用者数は年々少しずつ増加している。行政の積極的な公共施設での利用者を増やす取り組みの一環として多様性のある図書館が創られてきていることが一因として挙げられる。一方で、急激なネット社会の発達を背景に、読書をする人が近年減少している。全国の16歳以上を対象とした2013年(平成25年)「国語に関する世論調査」によると、1か月に読む本の冊数について、「読まない」と回答した割合が47.5%と最も高く、2002年(平成14年)の調査から10%も上昇している。こうした現代のネット社会における問題の代表ともいえる「活字離れ」は、学習面だけでなく、対面的なコミュニケーションに必要な人間性、すなわち道德面にも影響を与えることが分かっている。

本稿では、図書館や読書活動の現状を明らかにし、ネット社会によって地域住民のつながりが希薄化した現代社会に必要なまちづくりを、図書館からの視点で考察していく。